



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第58号
VOL.58

八戸国際交流協会
Hachinohe International Relations Association

2017年3月発行
Published March 2017

八戸から手紙が届いたよ！



Asante Sana!

(アサンテ サーナ!)

=どうもありがとう!

JICA青年海外協力隊員としてタンザニアに派遣されている八戸市出身の兼田美沙さんを通して、八戸市立南浜中学校からタンザニアのルヴ女子高校へ文房具や古着の寄付を行いました。生徒たちは、地域にとどまらず国境を越えてボランティア活動を行うことができました。
→詳しい内容については、6～7ページをご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2～3… 異文化理解イベント

P4～5… 八戸工業高等専門学校の国際交流
活動紹介

P6～7… タンザニアの学生と市内中学生と
の交流

P8 …… 在住外国人へのインタビュー(八戸高専留学生編)

P9 …… 餃子の会と満州

P10～11 国際交流員マッシュのコーナー

P11 …… HIRA からのお知らせ

P12 …… 外国人住民用「ほっとスルメール」登録者募集中

会員数

個人

174

団体

55

(平成29年3月現在)



～サウスカロライナの名物～ ローカントリー料理を作ろう！

1月26日(木)に異文化理解イベント「～サウスカロライナの名物～ローカントリー料理を作ろう！」を開催しました。

講師に米国サウスカロライナ州出身の八戸市国際交流員マッシュ・ボラ先生を迎え、サウスカロライナ南部に伝わる郷土料理「ローカントリー料理」のうち、①シュリンプ&グリッツ、②フライドオクラ、③ピーカンパイの3品を作り、サウスカロライナについて紹介してもらいました。



しまちゃん

ローカントリーって
標高の低い地方のことなんだって！



＼こんな料理ができました！／



①シュリンプ&グリッツ



②フライドオクラ



③ピーカンパイ



マッシュ先生の実演説明。
皆さん、真剣に聞いていました。

ほぼ全員、初めて作る料理。
みんなで、協力して楽しくクッキング～♪ マッシュ先生
にもアドバイスをもらいながらやっていました。



サウスカロライナ州

ローカントリー地方・文化紹介



サウスカロライナ州

ローカントリー地方



サウスカロライナ文化紹介のようす

ローカントリー地方は、サウスカロライナの沿岸部に位置し、周りは川や海で囲まれています。私たちが普段食べている米、なんと、この地方でも多く栽培されています。平らで、湿地帯が多く広がる環境が米の栽培に適しているのだそうです。貴重で高く売れる農作物だった米は、栽培技術を持っていた西アフリカからの大量の奴隷たちにより、プランテーションで栽培されました。

今日作った「シュリンプ&グリッツ」のグリッツは、乾燥させたとうもろこしを挽いてふるいにかけ、残った粉のことです。



このように水分を含んだら、
ペースト状になりました！



元々グリッツはアメリカ先住民の食べ物ですが、植民地時代に入植したヨーロッパ人も、とうもろこしを栽培し、食べ始めたそうです。

また、ローカントリー地方では、国際貿易が発展した影響で、他国から様々な物が入ってきました。今回作った、シュリンプ&グリッツのソース作りに使ったスパイスもそのうちの一つです。海産物は、えびの他にかきも有名です。

今回の料理作りで、異文化に触れましたが、日本文化と共通している部分もあり、とても興味深かったです。ますます、異国へ行ってみたくありませんね！

ふむふむ、
歴史のお勉強だ！
ためになるな～。



かぶさん

ご参加いただいた皆様、
ありがとうございました！

こかぶくん&
こうみちゃん



1 グローバル高専事業 …オンライン英会話の授業



インターネットを活用した英会話授業は、生徒一人一人に対し外国人の先生がそれぞれ対応し、画面を見ながらコミュニケーションをとっています。

会話スタートのボタンを押すと同時に、学生と画面上の先生との英語による挨拶が部屋中を飛び交います。学生は、予習してきたテーマに沿って英語でのコミュニケーションを楽しんでいます。

2 海外自主探究学習

学生がエンジニアとしてグローバル市場で活躍できるよう、そのための人材育成として、自ら課題を見つけ、調査・研究・解析により問題解決に至る工程を、異文化の中で他国の人たちと協力しながら体験する学習を行っています。

3 英語での授業の推進

学生の英語能力向上のために、授業を英語で行うことを計画中のことでありますが、まずは教員に英語での授業方法を習得してもらうために、教員をアメリカの大学に派遣する予定です。

4 日本語の向上

英語でのプレゼンテーション、論文等と言わんとすることを理解してもらうために、文章の論理的構成が重要となりますが、その土台となる日本語の理論構成に関する勉強も必要ということで、日本語での理論的な文章の組み立て方を課題として勉強しています。

5 異文化交流 …留学生の受入れ及び学生の派遣

学生たちの海外に対する意識の向上、異文化コミュニケーション力の向上を図っています。

平成27年度の学生交流実績	
留学生受入れ	
留学生受入国	学校名
アメリカ	エドグレン高等学校
フランス	リールA技術短期大学
香港	香港IVE
シンガポール	テマセクポリテクニク
マレーシア	マラ工科大学

学生の派遣	
学生派遣国	学校名
フランス	ベツヌ技術短期大学
	ランス技術短期大学
	バランシエンヌ技術短期大学
	リトル・コート・ドパル技術短期大学
フィンランド	トゥルク応用科学大学
マレーシア	マラ工科大学
タイ	キングモンクット工科大学ラカパン
シンガポール	テマセクポリテクニク
	シンガポールポリテクニク
中国	大連交通大学
	大連理工大学

海外自主探究学習

生徒自らが問題を探し、その解決策を検討、実証して提案するという、いわゆる問題解決の為の P (プラン) D (実行) C (チェック) A (アクション) を経験するためのプログラムを実施しています。昨年度、モンゴルでのヨーロッパ型のチーズ作りをテーマに活動した、モンゴルからの留学生バーニャさんにお話を聞いてみました。

ダムツァグルジ バンディニャムさん
モンゴル出身（電気情報システム工学コース）



- Q 問題としてチーズ作りに着目した理由を教えてください。**
- A** チーズは、アジア型とヨーロッパ型に分けることができます。モンゴルのチーズは当然アジア型ですが、国内市場ではヨーロッパ型のチーズも多く見かけます。日本を含む世界市場ではヨーロッパ型の熟成チーズが好まれています。そこで、モンゴルの材料でヨーロッパ型の熟成チーズができないかと思い、テーマにしました。
- Q どうやってチーズ作りを覚えたのですか？**
- A** 最初は、岩手県葛巻にあるチーズ工房でチーズ作りを教えてもらいました。その後モンゴルに行って、地元の材料を使ってヨーロッパ型のチーズ作りにトライし、そのチーズを作ることができました。

太田先生より（総合学科 国語科）

海外自主探究は、国と国との技術の違いを知り、さらにその違いを超えて、ひとつのものを作り出そうとすることを学びます。そのためには英語が必要となり、英語を「話す・聞く・書く」能力を備えなくてはなりません。また、そうした「作り出す」能力の根源には、論理的に考える日本語力も必要です。

海外留学体験

1 「東日本大震災復興状況を英語でプレゼンテーション」 大久保 里穂さん（マテリアル・バイオ工学コース5年生）

東日本大震災後、海外の人は日本の復旧とか原発の状況を誤解している状況がありました。そこでアメリカで日本の復旧後の現状を知ってもらうために英語のプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションの資料、発表はもちろん全て英語のため、国際交流センター長の阿部先生の指導により英語での資料作り、発表の練習を行いました。できるようになるまで大変でした。



再生エネルギーをモチーフにした木造公園

2 「3ヶ月間のドイツ留学」 渡邊 礼美さん（マテリアル・バイオ工学コース4年生）※トビタテ! 留学JAPAN第5期生

留学の目的は、再生可能エネルギーやクリーンエネルギーによる発電について、政策や技術など全般的に勉強するためです。留学先は、ヴィルトボルツリート村という人口2,000人ほどの小さな村ですが、20年前から風力発電や太陽光発電への設備投資を実施しており、今では村内電力の100%がこれらの再生エネルギーで、電力自給率は500%ということです。住民の方は「少しお金がかかっても環境に良いものを使いたい」「石油エネルギーは使わない」と話していて、みんなが環境問題を自分に関係あることだと考えていて、リサイクルやエコバックの使用など、日頃からできることをしているのだと学びました。この村は、石油代替エネルギーの実証自治体として国際的に有名で、この村長は八戸でも講演を行ったことがあります。滞在中はホームステイ先でドイツの家庭料理をご馳走になりました。また、デンマークの再生エネルギーのメッカ、フォルケセンター研究施設も訪れました。



風力発電設備見学の様子

※「トビタテ! 留学 JAPAN」は、2014 年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度で、2020 年までに約1万人の高校生および大学生を派遣留学生として送り出すことを計画しています。詳細は、後述のウェブサイト参照するか、八戸高専渡邊礼美さん（当プログラム学生ブランドマネージャー）に連絡してください。 ウェブサイト：tobitate.mext.go.jp/program/



Hachinohe ↔ Tanzania

八戸 ⇄ タンザニア 学生交流中!



タンザニアの国旗



@八戸市立南浜中学校

3年生は「今、私たちにできること」として、自分たちができるボランティアについて考え、地域の清掃活動などを行ってきました。

そんな中、文化祭で周りの人たちに協力してもらってできることはないか考えました。そこで、タンザニアに青年海外協力隊員として派遣されている兼田美沙さんに連絡をとって、タンザニアの生活についてうかがい、「文房具や古着の寄付」を行うことになりました。

衣服はタンザニアに向けた夏用の服、GU・ユニクロで回収してもらえる服に限って回収



3学年の文化祭実行委員。
市内のスーパーにも許可を得て、フェアトレード商品の紹介と販売も行いました



文化祭で上演した劇（ライオンキング）の舞台も偶然タンザニアだと知って驚きました!

文化祭では、近隣住民の方や小学校の先生方からも協力していただきました。

衣服と文房具をタンザニアに送る際に、3年間勉強してきた英語を使って、日本について紹介する手紙を書いて同封しました。

- 新年行事や節分、ひなまつりなど日本の行事について
- 着物や浴衣について
- 寿司など和食について
- アニメについて
- サムライや忍者について

などを紹介しました。

2017年1月返事が届きました!

ALTの力などを借りながら、また手紙を書いているところです…。『国境を越えてコミュニケーションがとれるなんて、なんだかワクワクします!』
(生徒の感想)



@タンザニア ルヴ女子高



兼田 美沙さん

27年度まで下長中学校に在籍。
28年6月からタンザニアにあるムランディジ(都市ダルエスサラームからバスで3時間)という町の近くのルヴ女子高に派遣されている。

Jambo! (ジャンボ!)
= こんにちは!

ルヴ女子高校で数学を教えています。教える内容は、日本と大体同じです。英語とスワヒリ語を使って授業を行っています。また、週2回、放課後にクラブ活動の時間があり、生徒と一緒にバスケットボールを楽しんでいます。



Q：南浜中学校から届いた古着や文房具を「寄付」という形ではなく、「バザーを開催して売る」という形にしたそうですが?

A：タンザニアには便利なものはあまりないですが、みんな幸せそうに暮らしています。そんな彼らにただで物をあげることは簡単ですが、そうすると「日本人はただでものをくれる」という認識をもってしまいます。だから、少額でも寄付されたものを買ってもらい、学校のためにその売上金を使ってほしいと考えました。早速、壊れていたバスケットゴールを修理してくれました。



文房具をさっそく使って遊ぶ子ども



手紙の返事を書いています…

八戸のみなさんへ

タンザニアは日本に比べればとても貧しい国ですが、人々はとても温かく、親切です。道を歩いていれば、たくさんの人に声をかけられます。私がバス乗り場で困っていると、必ず誰かが助けてくれます。そんなタンザニア人に支えられながら、楽しく活動しています。ただ、八戸の美味しいお刺身を食べられないことだけがつらいですが…





在住外国人へのインタビュー

八戸高専留学生編

八戸高等専門学校には、勉強のため毎年留学生がやって来ていますが、八戸での生活及び勉強に支障がないように、学生が生活面及び勉強面でサポートする「チューター制度」というものがあります。今回はそのチューター及び留学生に現状を聞いてみました。

チューター制度

留学生が学校での学習や日本における生活をスムーズに行うことができるように、選定された学生が留学生指導教員と連絡を取りながら留学生を日常的に援助する制度。

■チューター：大久保 里穂さん（マテリアル・バイオ工学コース5年生）

チューター制度は、日本語が十分でない留学生に対して、授業及び生活面で在学生在がサポートする制度です。日本語での授業ですので、そのスピードについていけない場合もあり、チューターが授業でわからない点を再度ゆっくり説明します。また、生活面でも相談に乗っています。これまで、チューター及びその家族によって留学生と地域住民との交流がなされていましたが、最近はそれが少なくなっているようです。

Interview

■インタビューに参加してもらった留学生

マレーシアから…… ムハマド・ハキム さん（環境都市・建設デザインコース4年生）

ムハマド・リデュワン さん（機械システムデザインコース4年生）

ラオスから…… サイオントー・ソンペット さん（マテリアル・バイオ工学コース3年生）

01 Q 宗教上の制限のある場合、寮での食事はどうしていますか？

A ハラル認証の食材をインターネットで購入して、自分で料理します。
ラオスでは食材制限がありませんが、自分で料理します。

02 Q 将来はどのように考えていますか？

A 国費留学及び各政府による派遣留学なので、自国企業と関係する日系企業で働いたり、自国に帰って自国の発展に貢献したい。また、何らかの形で日本との架け橋にもなりたい。

03 Q 八戸の地元住民との交流はありますか？

A 学校の授業は日本語で行われるため、授業の内容のほかにも日本語の勉強も必要で、休みの日も勉強しています。八戸市内の日本語教室で日本語を勉強する時以外、地元の人との交流する時間があまりありません。

八戸高専に通う留学生のみなさん



餃子の会と満州



中国のお正月である春節を祝って、2月12日、餃子作りと中国料理を楽しむ集いが開催されました。八戸工業大学の渡辺教授が幹事となっている『餃子の会』というグループが主催で、40名ほどが参加し、餃子の皮作りから具の包み方まで、本場中国のベテランの方の指導を受けながら行われました。中国に関心がある、あるいは中国武術を習っている日本人と、八戸周辺に住んでいる中国人が、共にワイワイガヤガヤしながら作り、その後の会食では作りたての餃子と中国料理を楽しみました。

餃子作りと 会食状況



元々は、中国に関心のある方々が、八戸に旧満州から帰国した残留邦人の方々が色々なことで困っていることや、八戸市民との交流も無い、との情報から、「餃子でも作りながら交流をしよう」、と始めたのがこの『餃子の会』です。この会では満州に関する話題が出てきますが、残留邦人の方々が亡くなったり、高齢化したり、さらには以前からサポートしている方々も高齢化し、“満州”や“満州開拓団”のことを語ることができる人たちが少なくなっているようです。



中国瀋陽9.18歴史博物館見学時の写真

右の住所は、旧満州国瀋陽で青春時代を過ごされ、終戦とともに日本に引き上げて今も健在な方々の戸籍謄本です。“満州国”、“公主嶺”、“満鉄”という表示と共に“菊池町”という日本名の町名があります。中国に日本人街があったことを示しています。この方々も高齢ですので、数年後には自由になり、自分の故郷“満州”に帰ると思います。

ここ数年、八戸の学生が中国語語学研修の一環で瀋陽にある9.18歴史博物館を訪問しています。博物館出口のモニュメントには「勿忘[ウーワン]国恥」、「国恥を忘れるなかれ」と書かれています。ここで学んだことや、県内各地からも満州に渡り色々大変な経験をした人々のことを後世に語り継いでくれることを期待したいと思います。

参考資料：満州開拓史刊行会『満州開拓史 黒河大青森郷開拓団』／八戸市立図書館
渡辺武秀『八戸近郊の「中国に残された日本人」の証言記録(1)』／八戸工業大学紀要第26号巻別刷 H19.3

支那南滿洲省長嶺南鉄道沿線に在る

満洲国公主嶺南鉄道沿線に在る



国際交流員 (CIR) マシユのコーナー!



聖パトリックの祝日 3月17日



On March 17th many people throughout the world will be celebrating a holiday called St. Patrick's Day. Although western holidays like Christmas, Halloween, and Valentine's Day have gained growing popularity in Japan, St. Patrick's Day remains relatively unknown.

3月17日に世界中の人々はセントパトリックス・デーという祝日を祝います。クリスマス、ハロウィン、バレンタインデーは日本でどんどん人気が出てきましたが、セントパトリックス・デーはまだ知られていない所もあります。

Saint Patrick is the patron saint of Ireland. The story goes that hundreds of years ago Saint Patrick was kidnapped by pirates and stolen to Ireland. After escaping and becoming a bishop, he returned to Ireland to convert the people to Catholicism, and whose memory is celebrated March 17th as an important holiday.

聖パトリックはアイルランドの守護聖人です。話は何百年も前に遡り、パトリックは海賊に襲われ、アイルランドにさらわれました。その後、自国に逃れ、カトリック教の司教になりました。そして、彼はアイルランドの人々をカトリック教に改宗するためにアイルランドに戻ったといわれ、彼の命日の3月17日を重要な祝日として祝うようになりました。

This leaves the question of how an Irish Saint's festival became a holiday celebrated around the world regardless of one's religion. Around the second half of the 1800s, Ireland was struck with a huge famine that killed hundreds of thousands and caused hundreds of thousands of Irish to flee the country to places like the USA, Canada, Australia, etc. When Irish immigrants arrived, they continued to celebrate St. Patrick's Day. As time progressed the celebrations become larger and more well-known, so that soon the holiday became more a celebration of Irish culture and heritage and less about religion.

しかし、聖パトリックはアイルランドの守護聖人なのに、なぜ自分の宗教にかかわらず世界中の人々がこの祝日を祝っているのでしょうか? 19世紀の後半ごろ、アイルランドではとても大規模な飢饉が起こり、何十万もの人々が亡くなって、他の何十万もの人々はアイルランドからアメリカ、カナダやオーストラリアなどの国に逃げました。アイルランドからの移民は移り住んだ先でも、聖パトリックの祝日を祝い続けました。時間がたつにつれ、祝い事がどんどん大きくなり、多くの人に知られるようになりました。するとやがて、宗教というよりもアイルランドの文化と遺産のお祝いになったのです。

So how do people in the USA celebrate St. Patrick's Day? Most people wear green clothing. Green and the green shamrock are symbols strongly associated with Ireland and St Patrick. Children (and some adults) often dress in green and go to school, and those friends who forget to wear green on March 17th are playfully pinched as a penalty. Cities, such as NYC, Chicago, and Savannah host large parades, and some cities even dye their fountains or entire rivers green. Finally, one other common practice is to eat traditional Irish immigrant food and drink a Guinness, the most popular beer from Ireland, or to consume beer that has been dyed green in honor of the celebration. This March 17th try celebrating St. Patrick's Day by wearing a bit of green and maybe even enjoying a Guinness after work!

さて、アメリカ人はどういう風にセントパトリックス・デーを祝うでしょう? 多くの人は当日に緑の服を着ます。緑とシャムロックという緑のクローバーは古くからアイルランドと聖パトリックに深い関わりを持ちます。子ども達は (数人の大人も) 緑色の服を着て学校へ行きます。それを着忘れてしまう友人を罰として遊びでつねります。ニューヨーク、シカゴ、サバナのような都市では大きいパレードが開催されて、ある都市では川または噴水を緑色に染めるところもあります。また、もう一つ良く行われている習慣はアイルランド料理を食べ、アイルランドの有名なギネスビールまたは緑色に染められたビールを飲むことです。3月17日に緑の服を着て、仕事終わりに一杯ギネスを飲んで、一緒にセントパトリックス・デーを祝ってみませんか?



HIRAからのお知らせ

八戸国際交流協会 会員及び準会員募集!

八戸国際交流協会の会員及び準会員*を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会に推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年会費 【個人】1口 2,000円 【団体】1口 10,000円

会員の特典

- 協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
- 協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
- 協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

※準会員は高校生を対象とした会員制度です。詳しくは協会HPをご覧ください。

八戸国際交流協会ボランティア募集!

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、**18歳以上**で、次に掲げる条件を満たす方です。

条件

- 1) 八戸市内に住所を有する方 (市内の事業所及び大学に通勤通学している方を含む。)
- 2) 国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容

- 通訳、翻訳
- ホームステイ、ホームビジット受入
- ツアーガイド
- 国際交流イベントの企画、従事など

外国人のための日本語講座

当協会はNPO法人みちのく国際日本語教育センターに委託して、外国人のための日本語講座を開講しています。会話を楽しみながら、日本語コミュニケーション力を高めましょう。

日程：平成29年4月4日(火)～平成29年7月11日(火)の毎週火曜日
時間：午後6時30分～午後8時30分
場所：八戸市福祉公民館(類家)
対象：八戸市近郊在住の外国人(レベル別にクラスに分かれます)
受講料：時期により異なるのでお問い合わせください。

【お問合せ】
NPO法人 みちのく国際日本語教育センター
馬場 080-6051-3109
 npo-mijec@ezweb.ne.jp
明日山 080-6026-3109
 michinokunihongo@gmail.com

ヒッポファミリークラブ

(英語はもちろん、いくつものことばを楽しみながら、話せるようになりたいと思いませんか?)

「八戸会場のご案内」お気軽にどうぞ!!

- 水曜日 15時半～17時 南部会館
- 金曜日 18時半～20時半 南部会館
- 土曜日 18時～20時 ユートリー
- 火曜日 18時半～20時 中庭コミュニティセンター
- その他午前中も随時開催

＜お申し込み・お問い合わせ＞
 言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
 ☎ 0120-557-761



子育て支援センター「スマイルガーデン」



カメイ歯科

八戸市六日町23(コンサートホールとなり)
 TEL 0178-22-0707

診療時間 平日 10:00～14:00 15:00～19:00
 土曜 10:00～14:00

・六日町パーキング券
 ・共通駐車券
 を差し上げております。

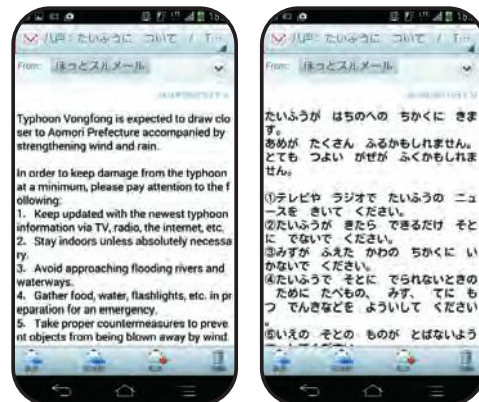
外国人住民用「ほっとスルメール」登録者募集中 Disaster Prevention Information Email in English and Easy Japanese

八戸市では、気象情報・緊急情報などを、外国人住民の皆さん向けに、英語・やさしい日本語(※)で配信しています。

※やさしい日本語とは、一般的な日本語よりも簡単で、外国人の皆さんにも分かりやすい日本語です。

Hotto Suru Email is a service that sends out disaster and safety information to cell-phone and PC email addresses.

Services are available in English and Easy Japanese.



料金

登録料及び情報利用料は無料です。
ただし、通信料は利用者の負担となります。

配信情報及び配信言語

- ① 津波情報 **日本語、英語、やさしい日本語で配信**
津波警報・津波注意報、津波に伴う避難情報
- ② 緊急情報 **英語またはやさしい日本語から選択**
地震・台風などの災害情報、避難勧告・指示や避難所開設情報
- ③ ライフライン情報 **英語またはやさしい日本語から選択**
電気・ガス・水道の事故などに関する情報
- ④ 火災発生情報（希望者のみ） **日本語のみ**

登録方法

登録を希望する方は、次の情報を添えてお申し込みください。

- ・名前 ・住所 ・電話番号 ・メールアドレス
- ・希望の言語（英語・やさしい日本語）
- ・火災情報の有無

Cost

Registration and information services are free.
However, telecommunication fees remain.

Information Sent

- ① Tsunami Information **available in Japanese, Easy Japanese and English**
tsunami advisories / warnings, evacuation information
- ② Emergency Information **available in English or Easy Japanese**
earthquakes, typhoons, evacuation advisories / warnings, the opening and location of evacuation centers
- ③ Lifeline Information **available in English or Easy Japanese**
problems with electricity, gas and water
- ④ Fire Disaster Information (optional) **only available in standard Japanese**

How to Register

Please apply with the following information.

- ・ name ・ address ・ phone number ・ email
- ・ desired language (English or Easy Japanese)
- ・ whether or not you wish to receive fire disaster information

お申込・お問い合わせ Contact Information

八戸市 市民連携推進課 国際交流グループ
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 Hachinohe Uchimaru 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人のお友達に
「ほっとスルメール」
のことを教えてあげて
くださいね！



かぶさん



編集後記

昨年度から国際交流活動を行っている各学校の紹介をしてきました。これらの学校が、学生を派遣あるいは留学生の受入れにより交流してきた国々を、地図上に投影してみると、八戸の国際交流活動の全体像が見えてくるような気がします。

JICA隊員として派遣されている八戸市民を含め、国際交流活動に参加した人たちの思いを反映できるような仕組みができれば、面白くなってくるのではないかと思います。その実現に向けて、これまで得た情報を活用していきたいと思います。

編集スタッフ

編集長：川崎 康一

編集員：亀井 圭子 田頭 順子 松田 朋恵



宗石 美佐 橋本 淳一 山谷 あかり

マッシュー・ボラ 阿部 静香 岩澤 このみ

発行・お申込・お問い合わせ：

八戸国際交流協会（八戸市市民連携推進課内）

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1

TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485

E-mail info@hachinohe-hira.jp

http://hachinohe-hira.jp

印刷：新光印刷株式会社

〒031-0813 八戸市新井田字鷹清水9-11

TEL0178-34-5331 FAX0178-34-6078